

洪水ハザードマップについて

- このハザードマップでは、阿寒川において、計画規模の洪水が発生した場合の浸水想定区域と浸水深、避難施設を示しています。
- このハザードマップは、釧路総合振興局公表の「阿寒川水系阿寒川洪水浸水想定区域図(計画規模)」(令和元年6月)に基づき作成しています。
- なお、阿寒川以外の河川の氾濫、高潮及び内水を考慮していないため、浸水想定区域として示していない場所においても浸水する場合や、示した浸水深より深くなる場合があります。

すばやく避難行動を取るために

洪水による被害の発生が予想される場合、市の災害対策本部から、市ホームページ・市フェイスブック・テレビ・ラジオ・防災行政無線(スピーカー)や広報車などを使って市民の皆様様に避難に関する情報をお知らせいたします。テレビ・ラジオをつけて最新の気象情報、災害情報に注意し、いつでも避難できるように準備をしてください。

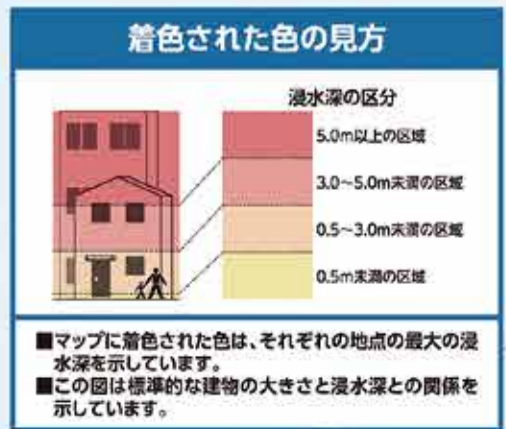
災害の危険度	警戒レベル	状況	避難情報と気象情報	とるべき避難行動
高	警戒レベル 5	災害発生又は切迫	緊急安全確保 ^{※1} 避難情報 大雨特別警報 氾濫発生情報	命の危険 直ちに安全確保!
~<警戒レベル4までに必ず避難!>~				
	警戒レベル 4	災害のおそれ高い	避難指示 避難情報 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	危険な場所から 全員避難
	警戒レベル 3	災害のおそれあり	高齢者等避難 ^{※2} 避難情報 大雨・洪水警報 氾濫警戒情報	危険な場所から 高齢者等は避難
	警戒レベル 2	気象状況悪化	避難情報 大雨・洪水・氾濫 注意報	避難に備え、ハザードマップなどにより自らの避難行動を確認
低	警戒レベル 1	今後気象状況悪化のおそれ	避難情報 早期注意情報(警報級の可能性)	災害への心がまえを高める

※1: 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、必ず発令される情報ではありません。
 ※2: 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。



凡例

	国 道
	道 道
	鉄 道
	行政区域界
	急傾斜地崩落危険区域
	家屋倒壊等氾濫想定区域(河川浸食)



●平成27年5月の「水防法」改正に伴い、想定し得る最大規模の洪水浸水想定等を地域住民に周知することが義務付けられました。